

うまい米づくりの町

お蔵米の郷かわじま

川越藩のお蔵米

「川越藩政とお蔵米の由来」

徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利し、1603（慶長8）年、江戸に幕府を樹立。川越藩は江戸の北の守りと位置付けられ、幕府の中心を担う大名が歴代の藩主となり武蔵野一の大藩としてその役割を果たしました。特に3代將軍家光を支えた松平伊豆の守信綱は「知恵伊豆」とも言われた優れた大名で、1639（寛永16）年、石高6万石を賜り武蔵国川越城主となりました。直ちに前年大火となった城と城下町の復興に着手し、大きな成果を残しました。

信綱は1648（慶安元）年、川越以北の平野部の水田地帯を中心に藩領の総検地を実施。大半が戦国時代から開発が進んだ地帯で、藩の生産力の基盤となる重要な場所でした。総検地で藩領の基礎が確立されると、新田開発に着手。

主な開発地は川越南部の武蔵野台地に広がる武蔵野地方と新倉郡野火止地方（現新座市）で畑作地帯でした。その後、新河岸川舟運の開設に取り組み、江戸城との交易を活発化させました。水田の検地をした川越以北とは川島領（現在の川島町周辺）が最も近く、四方を荒川、市の川、都幾川、越辺川に囲まれた地味豊かではないお米が生産される場所として年貢米を貯蔵する蔵などがあちらこちらで見られたと言われています。

川越藩の台所をまかない、一部は舟運の開設とともに、江戸城にも献上されていたとも伝えられ、藩の健全財政を支えてきた「お蔵米」とも言われています。



おいしいお米 選んでますか？

食事はご飯が大切。
毎日食べるものだからこそ、こだわりたいものです。
そんな、おいしいお米の話しを一粒…

● 埼玉県を代表するブランド米 ●

生産地である川島町と川島町土地改良区では昭和49年からおいしい米づくりに欠かせない安心・安全な水の供給を目的に、県営かんがい排水事業に着手。市の川、都幾川などの河川取水のほかに、貯水池や調整池を新設しました。全用水路のパイプライン化を図り、農家の労働力の軽減はもとより、必要な時に必要とされる十分な水源を確保することが可能となり、平成12年、138億円(補助金受益者負担を含む)を投じて、1300haの一大事業を完成させました。

旧川島町農業協同組合はこの由緒あるお米をより多くの皆様に味わっていただくこと、平成4年に「川越藩のお蔵米」の名称で登録商標を取得。さらに安心・安全なおいしいお米として皆様に食べていただけるよう、会員農家を募り「川越藩のお蔵米推進協議会」を設立しました。日夜、減農薬・有機肥料・栽培技術の向上に努め、埼玉県のブランド米として会員一同、丹精込めて生産しております。

平成24年に開催されたお米の国際大会「第14回食味分析鑑定コンクール」では世界各国3915点の出品中、当協議会のコシヒカリが埼玉県1位、彩のかがやきが特別優秀賞に輝きました。

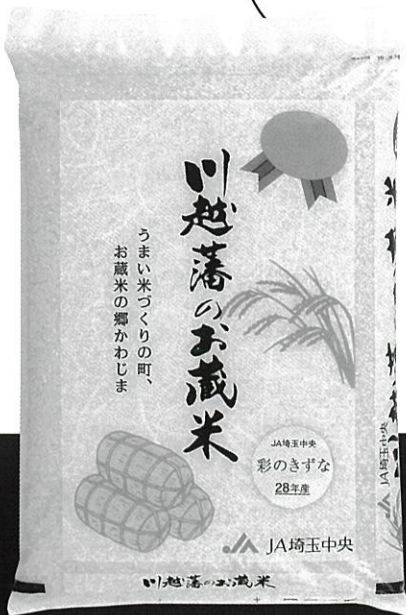
365日おいしく安心・安全な川越藩のお蔵米をどうぞご賞味ください。

埼玉中央農業協同組合
川越藩のお蔵米推進協議会

こしひかり

細心の品質管理で
緑、豊かな川島町から

彩のきずな



厳選品質

夢とロマン
川島の米

安心

納得

川越藩のお蔵米

JA 埼玉中央

緑の清流荒川を超えるとおいしいお米のふるさと、川島町です。
川越藩に愛された、それはそれはおいしいお米です。

一度食べたら忘れられないおいしいお米です。

名称	精米
原料玄米	産地：埼玉県川島町 単一原料米
販売業者	埼玉中央農業協同組合 埼玉県東松山市加美町1-20 ☎0493-22-3321